



# Green Community

日南町森林組合広報誌  
グリーンコミュニティー

## Contents

日南町林業まつり	P2
活動報告	P3~
研修報告	P6
理事会開催報告	P6
日南町の林業を支える人ほか	P7
お知らせ	P8

# 満員御礼！日南町林業まつり

11月3日（日）、日南町総合文化センター前特設会場において、日南町林業まつり（主催：日南町林業まつり実行委員会）を開催しました。

当日のイベントは、まき割り体験、木工体験、林業士体験、ミニ重機操作体験、樹木育苗センターの苗木展示、恒例の日南町伐木チャンピオンシップなど、ふる里まつり、食のバザールと同日開催ということもあり、多くの方でにぎわいました。

林業まつりのメイン事業といえば、やはり伐木チャンピオンシップ。出場者は22名で、チェーンソーで丸太を切る速さと正確性を競います。上位は大接戦となりましたが、森林組合林産班のリーダー、青戸一也がチャンピオンに輝きました。



## 9/4 ドイツから州経営責任者が来町

ドイツ・バイエルン州経営責任者のマルクス・シャラー博士（右端）が島根大学の伊藤勝久名誉教授とともに来町され、林業アカデミー、樹木育苗センター、(株)オロチなどを興味深く視察されました。

博士からは、「日南町の森林資源の地域循環の仕組みはとても素晴らしく、勉強になった。」という言葉いただき、今後のバイエルン州との交流についても提案がありました。この日、通訳として同行していただいたのは、町に新しく赴任された国際交流員のエラさん（左端）でした。ありがとうございました。



右端がシャラー博士、左端がエラさん

## 9/20 J-クレジット購入締結式

(有)福岡組が、山陰合同銀行根雨支店・生山出張所の仲介により、J-クレジット10tを購入していただきました。

福岡弘貴代表取締役は「J-クレジットの購入によって森林が整備され、町の豊かな森林が次の世代へと継がっていけばいい」と、J-クレジット購入締結式で語っておられました。

森林組合でも、こうした篤志家のみならず皆様のご意見に答えるため、皆伐再造林の促進など、持続可能な森林づくりのための貴重な財源として、J-クレジット販売金を活用しています。



中央が福岡弘貴代表取締役

## 9/29 境港市民の山散策ツアー

境港市は、昭和56年に阿毘縁地内の山林86haを購入され、以来「境港市民の山」として、スギやヒノキを植林され、積極的に水源かん養林としての整備を行ってこられました。

これまでは年に1回の市民の山ツアーでしたが、今年は、7月は小学生向けに、9月は一般市民向けにツアーを計画されました。

参加された24名のみなさんは、森林の散策や木工体験を通して、森林の魅力を再認識して下さったようで、「また参加したい」と話しておられました。



## 9/30 ラジコン草刈り機導入

遠隔操作で下草刈り作業ができる、刈幅600mmのラジコン草刈機を導入しました。クローラ式（装軌車両）で最大45°の傾斜地でも安定した走行が可能で、前後進から速度調整、刈刃の回転のオン・オフなどといった草刈り機に必要な動作を遠隔で行うことができます。

この日の試運転は、阿毘縁のカラマツ特定母樹採種園。走行性、作業性ともに想定以上で、軟弱地でも抜群の駆動力を発揮、また、人が立ち入れそうにない場所や足元が安定しない場所での作業など、大幅な負担軽減になりそうです。



## 10/12 鳥取県林業体験研修就業相談会

鳥取県林業担い手育成財団主催による鳥取県林業体験就業相談会が、ふるさと日南邑で開催されました。

参加者は5名で、20代～50代、東京、大阪、兵庫、鳥取にお住まいで、いずれも林業への就業を考えておられるとのこと。チェーンソーによる伐倒、枝打ちなどの林業体験を終えられたみなさんは、「とても爽快でした」と、口を揃えて話しておられました。

新たな林業の担い手の発掘に期待を寄せて、町の林業と森林組合の諸施策の説明を行いました。



## 10/16 安全パトロールを実施

町内林業従事者の環境改善や技術向上及び業者間の施業の平準化を図ることを目的に、森林組合理事会事業部による安全・間伐評価パトロールを実施しました。

この日は、間伐作業完了現場2箇所に出向き、残存木の損傷の有無、選木方法や作業道開設ルートの良し悪しなど、52項目を点数化し、施業の評価を行いました。パトロール終了後、「今年のパトロールに比べて、技術の向上が見られたので、今後も業者のみなさんとの連絡を密にし、より良い山林づくりを目指してほしい」との講評をいただきました。



## 10/16 全国森林組合代表者大会

「林業のグリーン成長」と「Jforestビジョン2030」の積極展開による森林資源の適切な管理・循環利用の推進を掲げ、令和6年度全国森林組合代表者大会が開催されました。

大会では、循環型林業の推進や組織体制の強化を進めていくことを強く認識する機会となりました。

また、鳥取県の林業の発展と森林所有者の社会的経済的地位向上に向け、令和7年度森林・林業政策の予算確保に係る要望書を林野庁及び舞立昇治農林水産大臣政務官らに手渡しました。



## 10/26 N×グループの森林育成活動

神戸上地内のN×グループの森において、NIPPON EXPRESSホールディングス(株)グループの社員とご家族、総勢36名が、今年2回目(通算22回目)の森林育成活動を実施され、森林組合職員11名もその活動をサポートしました。

植林していただいたのは、イロハモミジ100本、アオダモ200本、クヌギ200本で、25aほどの林地に、新たな息吹が吹き込まれました。

森林組合は、こうした森林保全に向けた環境貢献活動を鳥取県・日南町とともにサポートしていきます。



## 11/13 林野庁の小坂次長が来町

林野庁の小坂善太郎次長が来町され、町内の林業関連施設を視察されました。

国有林野部長として、「樹木採種権制度」創設に携わられたことから、日南町樹木育苗センターの視察は、とても楽しみにしておられたようです。

オロチのLVL工場視察後、樹木育苗センターを視察された小坂次長は「カラマツは1年で出荷できるので、需給調整が容易。今後の展望に期待が持てますね」と職員を激励してくださいました。

小坂次長のエールに応えられるよう優良苗木の生産に取り組んでいきます。



左から二人目が小坂次長

## 11/20 次世代の森林づくり

特定母樹とは、①成長がよく（通常の1.5倍）、②材質がよく（通直で強い）、③花粉が少ない（通常の半分以下）という優秀な遺伝子を持つ選ばれた木のことで、遡ること、昭和29（1954）年に、日本全国から山一番の木が精英樹として集められ、その後、60年以上の育種研究調査を経て、特定母樹は誕生しました。

この日、国立研究開発法人森林総合研究所長野増殖保存園で購入したカラマツの特定母樹の接ぎ木200本を町内の特定母樹採種園に植樹、今後、種子を生産し、町の次世代の林業づくりに活かします。



## 11/28 大林組のちょっといい話

日南町樹木育苗センター内に人工光苗木生産パイロットプラントを設置され、カラマツの苗木生産を開始された(株)大林組の社員6名が、阿毘縁地内でカラマツの苗木を植林されました。

自然共生循環型モデルCircular Timber Construction<sup>®</sup>を掲げ、木材の利用推進と森林の持続的な循環利用に取り組まれている大林組。初雪が舞う生憎の荒天となりましたが、地球に優しいリーディングカンパニーとして新しい価値を創造していくという企業理念を、この日、垣間見ることができました。



速報

## 花粉の少ない森林づくりコンクール

このたび、一般財団法人全国林業改良普及協会による「花粉の少ない森林づくりコンクール2024」において、「日南町樹木育苗センターにおける優良苗木の生産」が林業技術・林業経営部門で、「カラマツの植林による多様な森林づくり」が多様な森林づくり部門で、いずれも奨励賞に輝きました。

花粉発生源対策に関する優れた事例を表彰するというコンクールで、町内でのカラマツによる森林づくりが高く評価されました。受賞の詳細につきましては、次号でお知らせします。



### 令和6年度 種菌研修会に参加して

原木・菌床シイタケ類の栽培技術・知識及び経営の向上を図り、原木・菌床シイタケ類に関する正しい知識を習得することを目的に、種駒メーカー大手の森産業株式会社（群馬県桐生市）で開催された種菌研修会（主催：全国森林組合連合会）に参加しました。

シイタケ類には栽培方法が原木栽培・菌床栽培の2つがあります。現在、シイタケ生産の主流になっているのは菌床栽培で、スーパー等で販売されているシイタケの多くは菌床栽培による商品です。平成12（2000）年には総生産量に占める割合が逆転、令和5（2023）年においては、総生産量約69,000tのうち、原木栽培での割合は約6%（約6,000t）にまで減少しています。

菌床栽培での生産量が増加した理由としては、菌床の扱いやすさにあります。菌床栽培は原木をオガ粉にし、米ぬかを混ぜて固めた物になります。1個あたり2.5kgと比較的軽く、高齢者でも持ち運びが容易です。一方で、大自然の中で育つ原木シイタケは、土壌や原木に含まれる微生物や栄養が豊富に取り込まれるため、菌床シイタケと比べて、豊かなうま味と深い香りが特徴です。また、乾燥させることにより、一層うま味や栄養価の高い食材になり、乾シイタケとして高価格で流通しています。

原木栽培と菌床栽培、それぞれの栽培によるシイタケの栄養価はほぼ同じです。どちらを選んでも上質な栄養を摂取することができます。作業の省力化等の観点からは、今後、その生産方法が、菌床栽培に置き換わる可能性は十分にあると思います。

菌床は、ネットでも簡単に購入できますので、栽培を楽しみながら食してみられたらどうでしょう。

（報告者：池田伊織）



原木シイタケ



菌床シイタケ

### 2024森林・林業・環境機械展示実演会レポート

「2024森林・林業・環境機械展示実演会」（主催/福井県・一般社団法人林業機械化協会）が福井県勝山市で開催され、役員9名で視察しました。この展示実演会は、出展者自ら開発・改良、輸入した高性能林業機械などを展示・実演して、その効果や性能を紹介することを通じ、安全作業の確保の普及と促進等を図ることを目的としています。

国内外約80社が、最新の林業・環境機械等を展示していましたが、特に目を引いたのは、ラジコン式のウインチグラップル（伐倒作業車）でした。

翌日は、同県あわら市の坂井森林組合を訪ね、9月30日に竣工したばかりの樹木育苗センター「ウッド・ナーサリー・サカイ」などを視察しました。



### 理事会開催報告（協議事項）

#### 第4回理事会（令和6年10月28日）

- ・ 令和6年度上半期決算並びに下半期の見込みについて
- ・ 役員賠償責任保険について
- ・ 監事監査の指摘事項等に関する回答について
- ・ 組合員の脱退、減資について
- ・ 花粉採種事業について
- ・ 職員年末賞与支給について
- ・ 森林整備センター分収造林変更契約締結及び分収造林契約締結について
- ・ 固定資産の取得、廃棄について

## ■ 日南町の林業を支える人 interview



株式会社グリーン・シャイン  
せのお たくみ  
妹尾 拓実さん

Q1. 林業の仕事歴は？

2年目半、3年目になりました

Q2. この仕事に入ったきっかけは？

小さい頃から木に興味があったのと、木や山など自然が好きだから

Q3. 仕事の内容は？

間伐、皆伐現場での伐倒、造材、搬出

Q4. 難しいと思うところは？

チェーンソーによる伐倒で、受け口、追い口、伐倒方向等を正確にすることと間伐時の選木

Q5. 林業の仕事についてよかったと思うところは？

毎日自然の中で仕事ができること、また、施業前と施業後で自分がしっかりできているのか考えるのが楽しみです

Q6. 今後の目標は？

受け口、追い口、伐倒方向等が正確にできるようになることと、機械のメンテナンスについてしっかり学びたいと思っています

Q7. 熱中していること、または趣味は？

バイクに乗ることとバレーボール

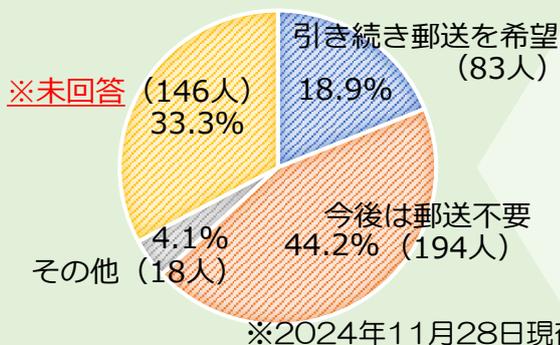
今月の表紙写真にご登場いただいた妹尾さんです。取材へのご協力、ありがとうございました。

### 広報誌の郵送に係るアンケート結果について

9月頃、地区外の方に向けて郵送しました広報誌と一緒に、広報誌の郵送について「引き続き郵送を希望するという方」と「郵送は不要という方」を確認するための「意向確認書」を同封しました。

その取りまとめ状況をお知らせします。

【抜粋】



#### 《郵送を希望される方からのご意見》

○お便りいつも読んでいます。楽しみにしています。  
○生まれ故郷との接点は、もうこれしかありません。どうかよろしくお願いします。

#### 《郵送は不要という方からのご意見》

○これまでご送付いただきありがとうございました。  
○承知しました。今後はホームページをみます。

一部しか掲載できませんでしたが、みなさまからのご意見に、気が引き締まる思いでいっぱいになりました。今後もみなさまへの丁寧な組合情報の発信に努めます。

郵送を希望されましたみなさまには、これまでどおり郵送します。郵送は不要とされたみなさまは、お手数をおかけしますが、ホームページよりご高覧ください。

なお、**未回答のみなさまからのご返信もお待ちしています**。よろしく申し上げます。

新入職員の紹介



専門監 松浦 昌司

9月より専門監として、お世話になっております。これまでの経験と知識を活かしながら職員、作業員とともに、組合員の皆様、日南町の林業の発展に少しでも、お役に立てればと思っています。これからも皆様のご指導を賜りながら、頑張りますのでよろしくお願い申し上げます。



白谷工房の寄木細工の販売開始

白谷工房（代表：中村健治さん）は、寄木細工によるアクセサリーや生活雑貨、文房具などを製作されています。

ドラマ「マザーゲーム」で女優の木村文乃さんが、同工房のヘアゴムをつけて出演され話題になりましたが、最近では、「手話パフォーマンス甲子園」に出席された秋篠宮家の二女・佳子さまが、同工房のイヤリングとパレットを身につけておられたことから、大きな注目を浴びました。そんな白谷工房の寄木細工を年明けから受託販売いたします。

手作りの温かみあるアイテムをお楽しみください。



組合員 名義変更などについて

亡くなられた組合員の方の名義の変更がまだの方、引越しをされて住所を変更された方は、森林組合までご連絡ください。届出用紙をお送りします。

(担当 総務課)

【お詫び】

日南町森林組合広報誌「Green Community」の月号（vol.160）の2頁の下、写真の説明に誤りがありました。下記のとおり、修正いたします。

[誤] 人口光育苗施設 → [正] 人工光育苗施設



年末年始休業

12月28日(土)～1月5日(日)

ご相談窓口

TEL 0120-988-928 (フリーダイヤル)  
受付時間/9:00～17:00(土日・祝日除く)

山についての相談はこちらにお電話を！

組合員数 (令和6年11月30日現在)

正組合員数 1,475名  
准組合員数 6名

発行元

日南町森林組合

〒689-5211

鳥取県日野郡日南町生山4 2 3 - 2

TEL 0859-82-0130 FAX 0859-82-0321

E-mail info@n-forest.jp.net

HP http://n-forest.jp.net

ホームページ



Facebook



Instagram

